

『第13次五カ年計画』国家高齢者事業発展及び養老体系構築計画』解説

養老体系の構築を強調し、高齢者の幸福を増進

——全国老齡工作委员会弁公室の關係部門責任者が『第13次五カ年計画』国家高齢者事業発展及び養老体系構築計画』を解説

<ご利用にあたって>

これらの翻訳は公定訳ではありません。法的効力を有するのは原文の法令自体であり、翻訳はあくまでその理解を助けるための参考資料です。このページの利用に伴って発生した問題について、一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

JICA 中華人民共和國事務所

国務院はこのほど『第13次五カ年計画』国家高齢者事業発展及び養老体系構築計画』(以下「計画」という)を印刷配布し、中国の新時代の高齢者事業の発展水準の向上、養老体系の整備のためのトップダウン型の制度設計を行った。全国老齡工作委员会弁公室の關係責任者は、新華社のインタビューに応え、「計画」は養老体系の構築についての内容を強調しており、高齢者の参加感、受益感と幸福度の向上、高齢者の福祉増進について重要な意義を有していると述べた。

説明によると、「第13次五カ年計画」期においても中国の人口高齢化は依然として急速に進むとともに、経済発展の「新常态(ニューノーマル)」及び社会のモデル転換が互いに絡み合い、工業化・都市化の加速的発展に伴い、核家族化および少子化も進む。2020年までに、全国の60歳以上の高齢者人口が2億5,500万人前後まで増加し、総人口に占める割合が17.8%前後に達する見込みである。これと同時に、後期高齢者、要介護者、独居者および「空巢老人(訳注:子供たちが独立し一人または夫婦のみで生活する高齢者)」の数がさらに増加し、高齢者の養老、医療、看護および福利等の分野に用いられる社会全体の支出も持続的に増加していくため、人口高齢化への対応という任務はきわめて困難となるであろう。

同責任者は、「第13次五カ年計画」期は中国の「小康社会(ゆとりある社会)」の全面的実現の成否を左右する段階であり、中国の高齢者事業改革の発展および養老体系の構築にとって重要な戦略的好期でもあると指摘。「計画」を編纂し実施することにより、高齢者問題に対する社会各方面の予測を正しい方向に導き、高齢者の参加感、受益感と幸福度を高め、高齢者が足並みをそろえ小康社会に歩み入ることができるよう保障することは非常に重要な意義がある。

「計画」は中国の高齢者事業の発展と養老体系の構築という現実的基盤に立脚し、小康社会の全面的実現という目標・要求に着目し、一つのメイン目標と四分野におけるサブ目標を明確に打ち出している。

一つのメイン目標とは、2020年までに高齢者事業の全体的発展水準を大幅に引き上げ、養老体系をより改善、充実させ、人口高齢化に適時に科学的かつ総合的に対応するための社会的基盤をより堅固なものとする事である。

四つのサブ目標とは、(1)複数の支柱、全面的カバー、より公平、より持続可能な社会保障体系の充実、(2)在宅を基礎に、社区(コミュニティ)を拠り所にし、介護機関を補助とし、医療と結合した養老サービス体系の充実、(3)政府と市場が自らの役割を十分に果たせる制度体系の充実、(4)高齢者事業の発展と養老体系構築に友好的な社会環境づくりへの支援である。

これらの目標の下で、「計画」では、各方面の取組みの進捗・実情を鑑み、具体的かつ実行可能で、評価・判定に便利な指標を次のように設定した。

——養老サービス業のサプライサイド構造改革の要求を鑑み、政府の運営する養老ベッドの割合が50%を上回らず、介護型養老ベッドの割合が30%を下回らない。

——「健康中国」戦略と結び付けて、健康的な高齢化の要求に則り、高齢者のヘルスリテラシーを

10%に引き上げ、二級以上の総合病院の高齢疾患科の設置割合 35%以上、65 歳以上の高齢者の健康管理率 70%を達成する。

——高齢者の精神・文化生活をより豊かなものとし、高齢者の社会参加を促進するため、教育活動に継続的に参加する高齢者の割合を 20%以上とし、高齢者ボランティア登録者数の割合を 12%、都市部・農村部社区基層の高齢者協会のカバー率を 90%とする。

同責任者は、「計画」は高齢者事業の発展を基礎として配置を行った上で、養老体系の構築を強調し、高齢者の基本的生活の保障と改善、「高齢者の扶養」の実現をより重要なポジションに置いたうえで計画と施策を行い、高齢者の福祉増進に力を入れていくと語った。

サプライサイド構造改革の要求に則り、「計画」では、在宅社区養老サービスの大幅な発展、社区養老サービス施設建設の強化、公設養老機関改革の加速、民間レベルでの介護機関の起業支援、介護機関のサービス品質の全面的向上、農村養老サービスの強化等の任務を打ち出しており、高齢者に多様、高品質、公平でアクセシビリティ（訳注：中国語「可及性」、利用のしやすさや入手の容易さを指す）のある養老サービスを提供することを目指している。

現在の中国の高齢者事業と養老体系分野における不備について「計画」では、高齢者優遇制度を普遍的に確立、整備するとともに、長期介護保険制度、高齢者後見制度の設立、全国的に統一されたサービス品質基準及び評価体系、介護機関の分類管理及びサービスの評価・判定制度の整備等を模索するなど、関連制度の設計を的確に行っている。「これは中国の特色ある高齢者事業と養老体系のより一層の成熟化と定型化の推進に役立つ」と同責任者は語る。

「計画」では、全国老齡工作委员会弁公室、民政部および国家發展改革委員会が関連部門と共同で、各地に対する指導・督促を強化し、進捗を速やかに検査し国務院に報告するよう求めている。同責任者は、全国老齡工作委员会弁公室が民政部および国家發展改革委員会等と共同で、各地区・関係部門の「計画」実施案の策定を指導、督促し、「計画」で打ち出されている主要任務と目標・指標を細分化して実施し、関連の付属施策・措施を速やかに打ち出すようにしていると述べた。また、監督・調査という効果的な手段を適切に使用し、総合監督・調査、特定項目の監督・処置、日常的な監督等の方法で「計画」の実行状況を監督・調査し、責任・効果の追及を強化し、「計画」の順調な実施を推進するという。

(2017 年 3 月 15 日 新華社)